

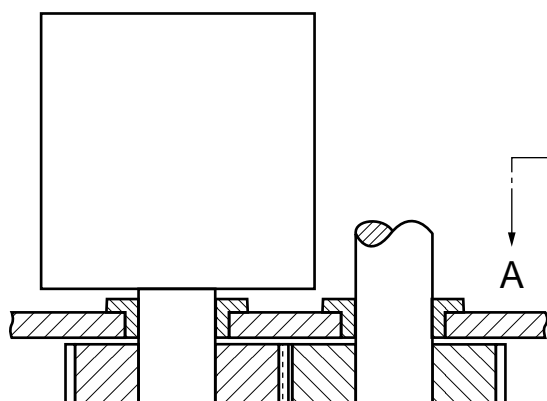
歯車（ 1 ）

特許図面で(a)の正面図に示したような歯車のA-A線断面図書く場合一般には次のような方法がある。

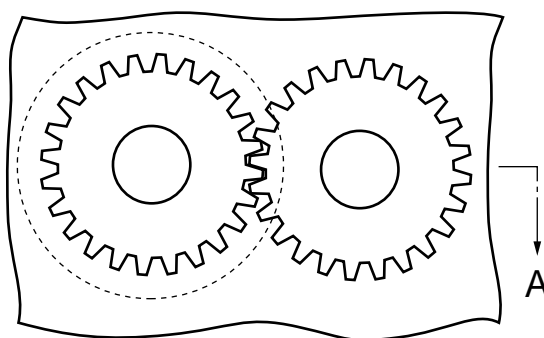
(b)は設計製図の図法に従って書かれたもので断面部分にハッチを施したものである、設計図面等が存在している場合そのままトレースすればよいので簡単であるが歯の噛み合い部分等が細かくなり読みにくい。

(c)は断面処理せずに外形を示したものである(歯車の外形を示す時にはその軸線と平行に実線と細線を交互に記す方法が特許では一般的である)。断面図等でも歯車部分はこのように断面にせず外形表示したほうが視覚的に理解しやすくなるのでこの方法が望ましい。この場合、もし軸のキー等を示したい場合は(d)で示すように部分的に破断する

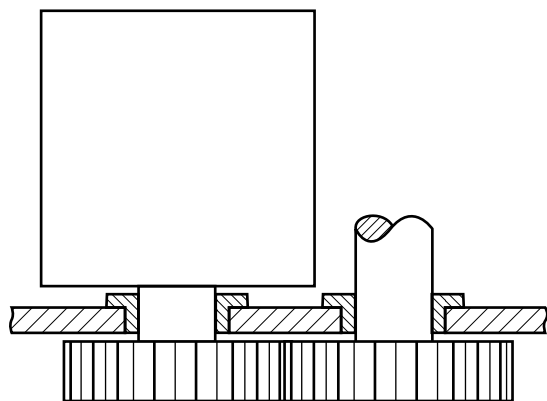
(b)歯車を断面処理した断面図



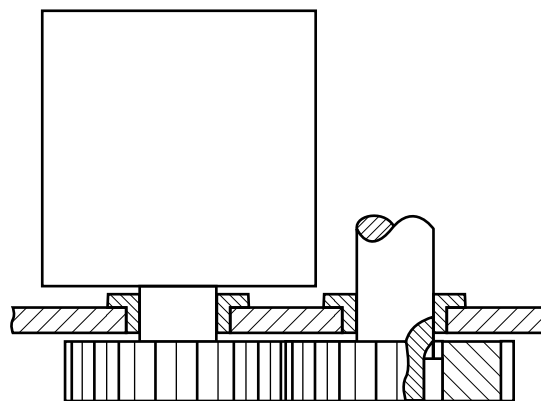
(a)正面図



(c)歯車を外形表示した断面図



(d)歯車を部分断面にした断面図



歯車（２）

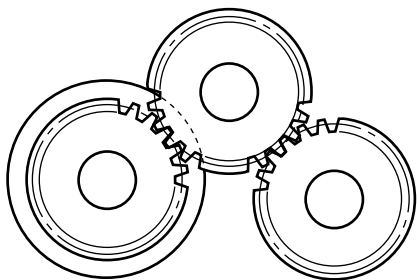
特許図面で(a)の平面図に示したような歯車を書く場合一般には次のような方法がある。

(b)は従来から特許図面に多く見られた歯車の噛み合い部分のみを实体化したものである。

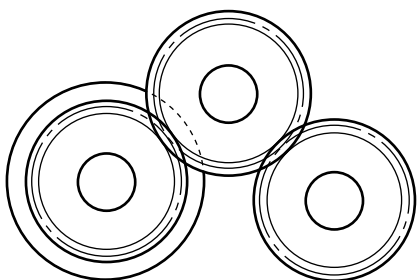
(c)は設計製図の図法に従って書かれたもので最も簡略的な方法であるが視覚的な説得力に欠ける。

(d)は実際の形状により近く図面化したものであるパソコンで作図する場合あまり時間もかからないので、このような表現にすることが望ましい。

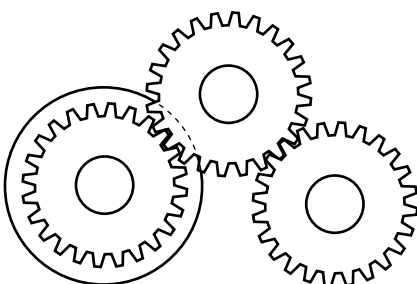
(b)歯の噛み合い部分のみ实体化したもの



(c)機械製図法により表現されたもの



(d)実際の形状を図にしたもの



(a)平面図

